



かま 議会だより かみち

NO. 10

2005.8.10発行

町木のブナ



第2回定例会 (平成17年6月)

補正予算	P 2 ~ 3
条例の制定及び改正	P 4 ~ 5
町政を問う	P 6 ~ 11
議員国内視察研修	P 12

見て!カブトムシ
かっこいいでしょ!

発行/宮城県加美町議会 編集/議会広報編集調査特別委員会

〒981-4392 宮城県加美郡加美町字長檀75-2 TEL.0229-67-5120 FAX.67-5130

<http://www.town.kami.miyagi.jp/> E-mail:gikaijimu@town.kami.miyagi.jp

町道色麻下多田川線

町道整備に

3億9,000万円追加

6月定例議会は6月21日から22日までの2日間開かれました。一般会計補正予算や「新庁舎建設検討委員会設置条例の制定」など議案28件を審議し、すべて原案どおり可決しました。また、改選後をはじめとなる一般質問では、議員6人が町政全般について質しました。

一般会計 145億円に

4億8,342万円の増額補正

主な内容

- | | | |
|----|--------------------------|-----------|
| 歳入 | ● バイオマス等未活用エネルギー調査事業費補助金 | 1,000万円 |
| | ● 地域新エネルギービジョン策定等事業補助金 | 800万円 |
| | ● 農村振興総合整備統合補助事業補助金 | 3,275万円 |
| | ● 繰越金 | 5,330万円 |
| | ● 町債 | 3億7,070万円 |
| 歳出 | ● 町民憲章額購入費 | 800万円 |
| | ● 農村振興総合整備統合補助事業 | 5,000万円 |
| | ● 木質バイオマスエネルギーシステム調査事業 | 1,000万円 |
| | ● 町道色麻下多田川線整備事業 | 3億9,000万円 |

町道色麻 下多田川線 第二期計画進展

Q 町道用地購入費、並びに補償費の積算根拠を伺う。

A この件につきましては平成12年から交渉が中断されていましたが、今回新町建設計画に基づいた事務を進める中で、不動産鑑定を業者に委託し確定した価格で合意に至ったものです。



町道色麻下多田川線

循環型社会の構築を目指す

Q 新エネルギービジョン策定事業委託について伺う。

A 新たに太陽光利用、木質バイオマス、畜産バイオマスエネルギー、家庭エネルギーなど新エネルギー導入の基本方針と目標、重点プロジェクトの検討等を^{※ネ}NEDOに委託し策定するものです。

※日本の新エネルギー総合開発機構・石炭液化・太陽電池など代替エネルギーの開発などを旨とする政府出資機関



間伐材を利用した新エネルギーの開発に



進む生活環境の整備



16年度に整備された集落道

Q 農村振興総合整備事業の進捗状況を伺う。

A 西小野田地区において農道、集落道、用排水路、防災施設等を整備、平成14年度から平成19年度までの継続事業で今回の補正を含めると72.4%の進捗状況になります。

調査事項が決定！

議会閉会中に3常任委員会と議会運営委員会が調査活動を行う「所管事務調査」の内容が決まりましたのでお知らせします。

総務建設常任委員会

- 行政改革の進捗状況について
- 建設計画に基づいた事業推進について

教育民生常任委員会

- 教育環境の整備について

産業経済常任委員会

- 資源循環型地域経済の構築について

議会運営委員会

- 議会活性化について

平成17年度加美町老人保健 特別会計補正予算

2,683万円追加

総額30億8,183万円へ

庁舎建設の是非を問う

新庁舎建設検討委員会条例制定

加美町新庁舎建設検討委員会条例の制定

委員20名で組織され、

新庁舎建設に関する事について調査及び審議を目的とする条例の制定です。

Q 町長の諮問機関とされる各種審議会、委員会、議会のメンバーが入

A いわゆる検討委員会のなかで議員の意見もそこに反映させて頂くというのと、審議の経過を議会にフィードバックして頂くことが必要であるとの考えから議員にもお願いするという事です。

Q これまでこの種の委員会構成は学識経験者という枠組みの中で議員も含まれていたが、今回は構成メンバーに町議会議員と明記されている。そうすると議会を代表して臨むこととなるのか、個人の資格で参画することになり、派遣のされ方次第で議会側としても対応の判断をせまられることになると思うが。

Q 最初から、そういう摩擦があると心配されるから議員も入っていた方がいいというの議論はならないと思う。

A 考え方がいろいろあると思う。当然のことながら最終的な判断は議会の議決にあります。

議員も検討委員のメンバーに？

Q これまでこの種の委員会構成は学識経験者という枠組みの中で議員も含まれていたが、今回は構成メンバーに町議会議員と明記されている。そうすると議会を代表して臨むこととなるのか、個人の資格で参画することになり、派遣のされ方次第で議会側としても対応の判断をせまられることになると思うが。

A 議会の議員として参画するわけですから代表であり、個人であるという両面を備えていると思います。

Q 私心配するのは仮にこの種の委員会に議員が入っていないと審議が進んでいって、議会は議会で検討し全く異なる結論が出た場合大変なことになると思います。



議会の対応は

期待するこの種の機能を

Q これまでの各種委員会での経過をみる限り、町長が言われるようなフィードバックも、議会としての提言もなかったことは事実ですし、町長が

Q 最初から、そういう摩擦があると心配されるから議員も入っていた方がいいというの議論はならないと思う。

A 考え方がいろいろあると思う。当然のことながら最終的な判断は議会の議決にあります。

自縄自縛にならないか

あなたの情報を 守ります

加美町個人情報 保護条例

町が保有する個人情報
の取り扱いについて規定
するもので「個人情報の
収集とその利用について」
と「個人からの開示請求
等への対応について」の
二つの骨子から構成され
ています。

加美町特別職の職員で非
常勤のもの報酬及び費
用弁償に関する条例を改
正

個人情報保護審査会委
員月額11,700円を
加え、その他委員として
月額7,200円から日
額3万円を超えない範囲
内に改めるものです。

加美町育英資金貸付基金
条例等を改正

4月1日に解禁となつ
たペイオフ対策として
基金と町債の相殺を可能
とする繰かえ運用規定を
新たに加えるもので五つ
の基金条例の改正です。

加美町町民体育館・運動
場条例を改正

これまで統一されてい
なかつた使用料金を統一
し、公平な料金設定のため
の見直しを行うもので
す。



写真判定機が新たに設置された陸上競技場

やくらい施設群など 7施設の条例改正



やくらい施設群

指定管理者制度に向けて

やくらい薬師の湯や土産センター、ウォーターパークなど
7つの施設を地方自治法の改正による指定管理者制度の発足
に伴うもので、管理を規定し、条文を整理するとともに、指
定管理者が行う業務を規定したものです。

契約の締結

- 中新田地区統合保育所屋外附帯工事 8,505万円
- 小型動力ポンプ付積載車(B12) (新規) 購入3台 1,496万2,500円
- 小型動力ポンプ付積載車 (B12、B13) (更新) 購入3台 1,317万7,500円

以上提案された議案は、すべて原案
どおり可決されました。

町政と問う

6月定例会の一般質問は6月21日に行われ、6議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。

6名登壇

問 学校において子供に殺傷事件が発生しているが、加美町においての今後の学校の警備のあり方について伺いたい。

問

学校において子供に殺傷事件が発生しているが、加美町においての今後の学校の警備のあり方について伺いたい。

近藤 義次 議員



学校警備のあり方は

地域全体で

答

平成13年の大阪教育大学付属池田

して危機管理マニュアルを作成し、緊急時の安全確保に努めております。

小学校の事件以来、学校の安全管理については適切な対策が求められていますが、施設面を充実するだけでは子供の安全を確保することはできません。

また、学校だけではなく、地域社会全体で子供たちの安全を守る活動を進めながら、子供の健全育成を考え、開かれた学校環境の中で学んでほしいと考えております。



不法侵入の防止は（中新田小学校）

問

寝たきり老人と認知症老人が増加しています。

今後の老人対策と老人ホームの建設について伺います。

答

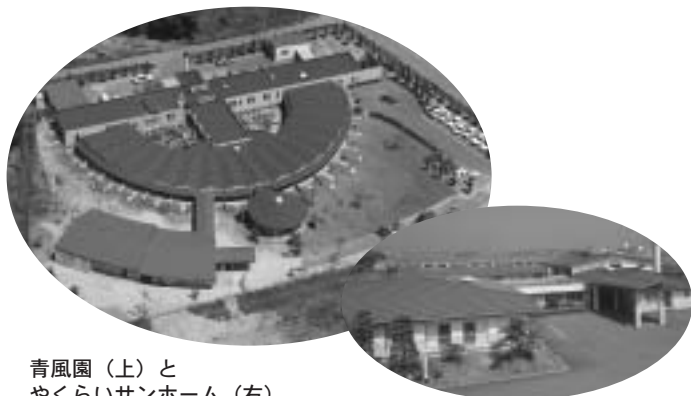
認知症や寝たきり老人が増加する中での高齢者対策については、ミニデイサービスやミニ敬老会等の実施に加え、転倒予防教室や認知症予防教室等を積極的に開催し、高齢者が生き

がいを持つて生活できる環境づくりに努めてまいります。

老人ホームの建設については、宮崎地区への特別養護老人ホーム建設の要望がある中で、民間事業者より老人ホーム等を建設したいという打診がありました。今後は民間事業者と話し合いを持ち、加美玉造福祉会とも連携を図りながら、建設に向けて努力をまいります。

町の老人対策は

予防教室を開催



青風園（上）とやくらいサンホーム（右）

福島 久義 議員



新庁舎建設は

検討委員会を設置

問

デフレの進行に伴う日本経済の危機的状况は、この2年間ほとんど変わっていない。影響はさらに深刻化し、自治体を取り巻く環境は極めて厳しい状況であり、行財政需要はますます多様化・増大化し、地方では景気の低迷で地方税収の伸び率も低下し、三位一体改革による地方交付税も減額されているところだ。

そうした中、平成の大合併を成し遂げ、平成15年4月新生加美町が誕生したことは大英断であったと誇りに思っています。合併で「市町村合併の特例等に関する法律」特例措置等による合併特例債が認められ、また、過疎債の特別な起債を有効に利用し、合併協議会で決められた年度別新町建設



現在の本庁舎（上）と宮崎・小野田支所（中・下）

計画事業も、概ね順調な進捗率と思われま

しかし、新庁舎建設については、合併協議会の中で建設の是非も含めて合併後に検討するという協定内容で常に説明を

答 新庁舎の建設については、新町建設計画において、建設の是非も含めて新町になったから検討するとしておりましたので、今議会に、加美町新庁舎建設検討委員会条例の制定を提案しています。

新庁舎建設につきましては、これまでの議会でもたびたび質問をいただき、検討委員会を立ち上げて検討したいと答弁してまいりました。

そこで、今議会に検討委員会の設置について提案しており、承認いただければ、建設の是非かの結論を出していただき、もし是の場合は、今年度中に新庁舎の基本構想や基本設計を策定できないかと思いますが、位置の問題とともありますので、今年度中に結論が出るかどうかは弾力的に考えています。

現在の本庁舎の現状は手狭で町民の方々にも不便をかけておりますし、町有林材が豊富であることを考えると、町のシンボルとして安価で働きやすい庁舎が建設できるかなとも思いますが、是非も含めて、検討委員会の皆さんのご意見を伺ってまいります。



一 條 寛 議員

住民の声を町政に 「町民相談室」を

各課が窓口相談

問

民間企業においては、「お客様相談室」を設け、お客様の声を汲みあげております。町民の価値観も多様化しております。

また合併後、行政との距離を感じるとの声もあり、町民の方の知恵とアイデアをお借りし、共に住みよい町づくりを推進するという観点から、直接町民の方より苦情、要望提案を寄せて頂き、町政に反映させていくことが必要と考えます。

そのために町民のみならず、さまの声をお聴きする、広聴の窓口として「町民相談室」を設けるべきと思います。が町長の考えを伺います。

答

町民の皆さんのご意見を伺う場としては、まず、各課がそれぞれ相談窓口であるということですので。

それから、地域審議会、各種委員会への町民の皆さんの参加があり、また、町政懇談会の開催を通じてご意見を伺うほか、役場や私宛に投書をいただくこともあり、広報紙で回答したり、ご指摘に対し改善に努めています。

ただ、新たな町民相談室の開設となると、本庁舎の場合手狭ですので、町民課や支所の住民生活課に相談窓口を置いて対応することは可能ですので検討してまいります。

問

本の音読や簡単な計算をしているとき、脳が活性化するというです。事実、生活習慣の改善と基礎学習の徹底で学力向上の成果を上げたとの報告もあります。

また学力の向上と子供たちのすこやかな成長を目的に「朝の十分間読書」を全国の多くの学校で実施され成果を上げているようですが、本町での基礎学習の回復や「朝の読書」の実施状況をお伺いします。

答

加美町教育委員会では、学力向上に向け、各学校において授業開始前、授業と授業の間の時間を活用して、読書や漢字の書き取り、算数の計算問題などに取り組んでいます。

これらの取り組みが、学力向上に結びついているか、今年度の予算に学力調査費が計上されませんでしたので、各校統一した学力調査を実施する考えです。

います。

しかし、テストの点数だけを学力とは考えず、国語や算数、理科などの基礎的な学習を基盤にして、総合的学習のなかでこれらの知識を生きた知識として使えるようにすることが本町の学力と育てており、この総合的学習が身につけば、子供たちの学力も必然的に向上していくと考えています。

「朝の読書」で 学力向上を 各校で取り組む



少人数の授業も実施（東小野田小学校）



星 義之佑 議員

町道 大通線の整備を

早期改良に努力

です。

また、道路全般を見ましても、歩道の舗装は凸凹で歩きづらく、側溝にはふたがなく暗い夜道などは非常に危険です。それから縁石も古くなり大分風化しております。美観上からいっても、整備する時期にあると思いますが、所見を伺います。

答

町道岡町大通線の歩道につきましては、以前にもご指摘をいただき、一部改良を行っていますが、道路の構造的な問題から根本的な解決には至っていない状況です。

冬期間の安全確保の点から、応急的な対策として側溝にふたをするということも一つの改善策ですが民家との段差の発生という問題もあり、非常に苦慮しています。

この路線は、町の過疎地域自立促進計画の改良計画に位置づけられ、平成21年度からの着工が予定されていますが、可能な限り少しでも早期の着手ができるよう努力してまいります。



歩道は傾斜があり歩きにくい

食育のあり方は

食育推進を図る

問

最近、新聞・テレビ・雑誌などで、食育に関連する記事が多く見られるようになってきました。

現代の子ども達は、毎日おいしい食事をしていけるせいか体は大きく体重もあり、過食や不規則な食事で体そのものが偏り、そのため生活習慣病になっている子どもが意外に多いことは、今にはじまったことではありません。

答

次代を担う子供たちの食生活については、現在多くの問題点が顕著になっています。このため、食育の一環として、スローフードや学校給食への地元食材の供給について、商工会、

将来のある健康な子どもに成長してもらえらるよう、行政からもしっかりと指導すべきと思うが所見を伺います。

農協、地元生産者が一体となつて取り組んでいきます。また、町全体も生活改善委員会等の協力をいただきながら食生活の指導を行っています。国において食育基本法が制定され、国民的運動としての位置づけがなされたことから、町もこれに連動して食の安全、安心を追求した食育推進を図ってまいります。



全校生徒で給食（宮崎小学校）



三浦 英典 議員

農業の担い手、 後継者の育成を 後継者確保に努力



子供たちも農業を体験

問

農業立国の加美町ではありますが、最近第一次産業の衰退、

農業人口の減少が著しく、5,868ヘクタールの耕地を将来誰が守っていくのか大変憂慮される所でございます。

町長も農業には熱い思いを持っておられ、現状はしっかり把握されていると思いますが、特に、担い手、後継者の育成について、考えを伺います。

答

町では、認定農業者を主体とした担い手育成に力を入れており、特に、昨年度策定した水田農業ビジョンを

基本的に、対策を図っていきたくと考えております。

具体的には、農業を担っている方々と相談をしながら、リーダーの育成講習会やモデル地区の選

定などを実施し、何とか認定農業者、担い手を増やしていけるよう努力いたします。

さらに、結婚対策も含めた農業後継者の確保に努力してまいります。

いづれにしても、農協、地域の方々、行政が一体となって水田農業の確立に努めてまいります。

問

これまで建設審議会を置いて何度か話し合いが持たれたと聞いております。

この施設については、老若男女、全ての方々に関わるものであり、これからの時代に大変必要とされるものだと思っております。

この審議会設置までいろいろ関わってきた方々、地元宮崎地区の人々の思い、関心が非常に高い事もあり、ぜひ、町長にこれまでの経過も踏まえて、考えをお聞きしたいと思います。

答

生涯学習センターにつきましては、昨年10月に建設審議会を設置し建設に向けて審議をいただいているところです。

その内容は、公民館的要素を備えたもので、地域の要望が強い児童館や放課後学級のな子育て支援機能も含めた施設の方角で審議が行われているようです。

いづれにしても、審議会の答申の内容を踏まえて建設に向け進めていきたいと考えています。

生涯学習
センター
審議会の経過は

児童館的機能も



佐藤 澄男 議員

問

教育の荒廃が叫ばれ、子ども達の将来と明日の地域社会・国を憂うる声が満ちあふれている。国や地域社会の基本である家庭や家族を軽視し、歴史と伝統文化に育まれる豊かな情操

教科書の改善問題

町も選定委員会を設置

と道徳心をないがしろにし、勉学を貫くことよって形成される向上心を、安易に回避して来た結果ではないか。子どもは社会の宝・国の宝であり、

なされた教科書の確保と教師の意識改革が不可欠であり、折しも今年度は平成18年度から採用される検定教科書の採択がなされる重要な年である。特に歴史・公民教科書については、外圧や一部偏向勢力の動きに左右されることなく、より良いもの子ども達に届けたいと願うものであるが、町の採択状況について伺いたい。

今年は検定教科書の採択が行われる



答

加美町も含む古川地域の公立小・中学校は、同一の教科書を採択することとされていますが、その手順としては、町の教育委員会の意見を聴いて、古川地区の教科用図書採択協議会が決定する仕組みとなっています。町の意見を集約する組織としては、教育委員や学校の代表及び保護者の代表によって構成される「加美町教科書選定委員会」が設置され、この選定委員会において、加美

新庁舎検討委員会への諮問は

17年度中に結論を

町が使用したい教科書についての意見を取りまとめることとなります。検定を通った教科書は、指導を行うことが必要だと考えています。いるわけですから、教科書を上手に教えるのではなく、教科書で心に響く指導を行うことが必要だと考えています。

問

ようやく庁舎建設委員会条例が提案されておるが、町長はどこまで踏み込んだ諮問をされるのか伺いたい。

答

新庁舎建設問題につきましては、建設の是非も含めて平成17年度中にできるだけ早く結論を出したいと考えています。

現在の状況から考えて新庁舎の建設は必要であろうと考えていますが、まず、新庁舎建設検討委員会に諮問し、建設の是非を検討していただくか

ようやく庁舎建設

ければなりません。

そして、仮に建設することとなれば、その時期及び位置、さらに建物の規模等について検討していただくこととなります

が、その場合、今年度中に基本構想や基本計画への着手ができるようになるためには、10月から11月頃までに結論を出していただきたいと考えています。

いずれにしても重要な問題ですので、総合的に検討・判断していただきたいと思っております。

報告

議員国内視察研修

去る7月20日より2泊3日
で(議員19名) 四国方面への
視察研修

兵庫県北淡町

「野島断層」

平成7年1月兵庫県南部地震で現れた、国指定天然記念物「野島断層」を、ありのまま保存、展示し、いろいろな角度から断層をわかりやすく解説、大震災の記録を伝える施設も充実、今後、観光、教育の教材に利用し、大人から子どもたちまで伝えていく施設です。

徳島県鳴門市

行財政改革大綱及び

実施計画について

平成11年度より15年度まで前期計画、16年度より20年度まで後期計画を策定し、前期計画では、職員数の削減、住民票等の自動交付機の設置、出張所の縮小・見直し、渡船事業の見直し、地域情報通信ネットワークの構築など、77項目のうち、重要骨子としていた13項



鳴門市役所にて

目についてほとんど達成し、全体で8割(49億円)、という成果を収めたが、後期計画では、景気回復が進まないことや、三位一体改革などにより、歳入増が見込めない状況にある一方、大きな財政需要に对应していくには、自主性・主体性を持ち、自己決定・自己責任の原則に基づいて、事務事業の民間委託や民営化、組織の簡素化など着実な実施が必要であるとの考えです。



まつやまRe・再来館

子どものまち鳴門

プランについて

地域で子どもを育てるという視点に立った子供このまちづくりを目指して平成13年5月に「子どもこのまち宣言」をし、具体

化に向けて、市民のみなさんが、つどい、共に学び、地域で子どもたちを支えるまちづくりを推進しています。

愛媛県松山市

環境美化推進について

「松山のまちをみんなで美しくする条例」を制定し空き缶及び吸い殻等

意見書

「分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める」意見書

一、議員定数の自己選択

二、議会の機能強化

三、議会と長との関係

四、議会の組織と運営の弾力化

提出先

衆議院議長

河野 洋平

参議院議長

扇 千景

内閣総理大臣

小泉純一郎

総務大臣

麻生 太郎

あて



要請書

「米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」要請書

産業経済常任委員会に継続審査として付託しました。

選任

教育委員会委員

村山 斌夫氏

教育委員会委員長の

高橋祐一氏が任期満了のため、後任に村山斌

夫氏を選任されました。

編集後記

「議会だより」は、町民の皆様と議会との意志交流を図り、議会の機能をより一層発揮させ、議会活動の理解と関心を得るため発行しております。今後とも町民の皆様に一層親しまれる紙面作りを目指し、努力いたして参ります。